



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月13日

上場会社名 株式会社 京都ホテル 上場取引所 東  
 コード番号 9723 URL http://www.kyotohotel.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岩 孝一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 柳瀬 光義 (TEL) 075(211)5111  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	5,046	0.3	135	86.8	△72	—	△65	—
24年12月期第2四半期	5,029	—	72	—	△109	—	△16	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	△6.31	—
24年12月期第2四半期	△1.65	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	19,361	1,848	9.5
24年12月期	19,399	1,911	9.9

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 1,848百万円 24年12月期 1,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	—	—	3.00	3.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,560	2.1	469	10.4	108	84.5	79	279.8	7.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期2Q	10,389,000株	24年12月期	10,338,000株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	59,161株	24年12月期	57,864株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期2Q	10,293,952株	24年12月期2Q	10,280,296株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを完了していますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の金融緩和策や景気対策への期待もあって、円安・株高が進行したことにより、一部企業の収益改善がみられたほか、個人消費も底固い動きを示したものの、総体としてみると依然盛上りに乏しいままに推移しました。

京都のホテル業界におきましては、国内団体客の宿泊は低調でしたが、個人旅行客が増加基調を辿ったほか、外国人宿泊客も為替円安を背景に増加するなど、全体的には比較的堅調に推移しました。

当社では、京都ホテルオークラ高層客室階「エグゼクティブフロア」の大幅な改装工事に伴い販売可能客室数が制限されたことで、宿泊部門の売上は減少しましたが、創業125周年にちなんだ各種イベントやレストラン部門の売上増、加えて昨年2月に開始した病院食事業の売上が貢献したことにより、当第2四半期累計期間の売上高は5,046,769千円(前年同期比0.3%増)、営業利益は135,797千円(前年同期比86.8%増)となりました。

部門別の営業概況は次のとおりです。

#### 宿泊部門

京都ホテルオークラでは、欧米やアジアからの外国人客(団体・個人)に加え、国内エージェント経由の個人客が好調に推移しましたが、今年度初期に着手した16階客室「エグゼクティブフロア」の改装工事及び無線LANネットワーク構築工事のため、販売可能客室数が制限されたこともあり、前年同期比34,234千円減となりました。

からすま京都ホテルでは、国内エージェント経由の団体、個人ともに伸び悩みましたが、インターネットによる個人予約や、欧州・アジアなどの外国人旅行が団体、個人とも好調に推移し、売上高は前年同期比11,011千円増となりました。

これらの結果、宿泊部門全体の売上高は1,373,356千円(前年同期比1.7%減)となりました。

#### 宴会部門

京都ホテルオークラの婚礼宴会は、大型の宴会受注もあり人数は増加しましたが、近隣に新規オープンした施設との競争もあり、件数は前年を下回りました。また、一般宴会におきましては、件数は増加しましたが、1件あたりの出席人数、単価が減少傾向を辿りました。そのため売上高は前年同期比24,531千円減となりました。

からすま京都ホテルでは、一般宴会が件数、人数とも増加したことに加え、宿泊が好調なことで朝食売上が順調に推移し、売上高は前年同期比10,992千円増となりました。

この結果、宴会部門全体の売上高は1,730,941千円(前年同期比0.8%減)となりました。

#### レストラン部門

京都ホテルオークラでは、焼きたてパン「パネッテリアオークラ」、あんカフェ「ル・プティ・スエトミ」、「ラ・テラス了以」が好調に推移し、鉄板焼「ときわ」、カフェ「レックコート」も堅調に売上を伸ばした結果、売上高は前年同期比21,781千円増となりました。

からすま京都ホテルでは、お食事処「入舟」、テイクアウトショップ「レックコート」、バー「アンカー」では客数が増加するなど堅調に推移しましたが、中国料理「桃李」が伸び悩んだことから、売上高は前年同期比4,735千円減となりました。

この結果、レストラン部門全体の売上高は1,339,527千円(前年同期比1.3%増)となりました。

## その他部門

その他部門の売上高は602,943千円(前年同期比6.6%増)となりました。

主な増加要因は、前年2月にスタートした京都府立医科大学附属病院の病院食事業が今期は6か月分計上されたことと、京都ホテルオークラ別邸「粟田山荘」のランチ及び通販部門のレトルト食品「特製総料理長カレー」の売上が順調に推移したことなどによるものです。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)		前年同期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	1,373,356	27.2	△1.7
宴会部門	1,730,941	34.3	△0.8
レストラン部門	1,339,527	26.5	1.3
その他部門	602,943	12.0	6.6
合計	5,046,769	100.0	0.3

## (2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ38,531千円減少し、19,361,114千円となりました。

負債につきましては、前事業年度末に比べ23,920千円増加し、17,512,375千円となりました。

また、純資産は前事業年度末に比べ62,451千円減少し、1,848,739千円となり、自己資本比率は9.5%となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、有形固定資産の取得などにより、前事業年度末に比べ65,654千円減少し、当第2四半期会計期間末には535,122千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は272,297千円(前年同期は583,156千円の増加)となりました。これは利息の支払いが150,576千円であったものの、減価償却費377,496千円などがあったことによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は513,237千円(前年同期は170,929千円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得498,055千円による支出によるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は175,285千円(前年同期は250,077千円の減少)となりました。これは主に短期借入金の返済が1,567,000千円あったものの、長期借入金が2,200,000千円増加したことなどによるものです。

(4) 業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の通期業績予想につきましては、平成25年2月13日に公表いたしました業績予想から、本日公表の「第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり修正を行っております。

また、平成25年12月期第2四半期の業績予想の修正につきましても、本日「第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しておりますので、ご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	600,776	535,122
売掛金	576,582	431,616
原材料及び貯蔵品	108,730	80,162
前払費用	74,807	70,165
繰延税金資産	37,511	61,085
その他	18,828	15,858
貸倒引当金	△326	△99
流動資産合計	1,416,911	1,193,912
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	12,066,981	12,026,683
構築物（純額）	95,526	102,133
機械装置及び運搬具（純額）	48,004	44,033
器具及び備品（純額）	239,778	301,853
土地	5,071,341	5,071,341
リース資産（純額）	69,903	55,355
建設仮勘定	4,410	161,242
有形固定資産合計	17,595,945	17,762,643
無形固定資産		
ソフトウェア	46,059	42,567
リース資産	38,167	28,318
電話加入権	4,429	4,429
ソフトウェア仮勘定	5,491	13,996
無形固定資産合計	94,147	89,311
投資その他の資産		
投資有価証券	82,477	125,240
関係会社株式	24,592	—
長期前払費用	95,317	81,410
差入保証金	44,412	58,747
繰延税金資産	34,250	37,759
その他	11,590	12,090
投資その他の資産合計	292,641	315,247
固定資産合計	17,982,734	18,167,202
資産合計	19,399,645	19,361,114

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	278,611	176,836
短期借入金	1,817,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	820,000	946,852
リース債務	64,734	44,904
未払金	625,963	553,584
未払費用	203,164	203,843
未払法人税等	10,527	10,255
前受金	59,288	70,700
預り金	157,462	159,798
前受収益	46,474	22,119
その他	44,893	43,562
流動負債合計	4,128,119	2,482,457
固定負債		
長期借入金	12,285,000	13,944,648
リース債務	52,379	45,938
長期未払金	62,922	83,436
退職給付引当金	52,422	41,526
役員退職慰労引当金	45,547	51,805
長期預り保証金	862,064	862,564
固定負債合計	13,360,335	15,029,918
負債合計	17,488,454	17,512,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	950,000	969,000
資本剰余金		
資本準備金	209,363	210,304
資本剰余金合計	209,363	210,304
利益剰余金		
利益準備金	15,427	18,511
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	749,596	650,667
利益剰余金合計	765,023	669,178
自己株式	△24,670	△25,182
株主資本合計	1,899,716	1,823,300
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,474	25,438
評価・換算差額等合計	11,474	25,438
純資産合計	1,911,190	1,848,739
負債純資産合計	19,399,645	19,361,114

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
<b>売上高</b>		
室料売上	1,357,918	1,330,981
料理売上	2,178,192	2,208,944
飲料売上	393,043	403,984
雑貨売上	266,370	267,488
その他売上	833,733	835,371
売上高合計	5,029,257	5,046,769
<b>売上原価</b>		
料理原料	637,163	645,136
飲料原料	84,281	86,591
雑貨原価	204,464	212,108
その他原価	168,994	157,668
原価合計	1,094,904	1,101,506
売上総利益	3,934,353	3,945,263
販売費及び一般管理費	3,861,641	3,809,466
営業利益	72,711	135,797
<b>営業外収益</b>		
受取利息	23	21
受取配当金	1,627	1,042
受取手数料	2,824	2,371
その他	3,948	5,608
営業外収益合計	8,424	9,045
<b>営業外費用</b>		
支払利息	169,507	165,422
支払手数料	20,700	51,200
雑損失	414	611
営業外費用合計	190,622	217,234
経常損失(△)	△109,486	△72,391
<b>特別利益</b>		
受取補償金	122,345	—
特別利益合計	122,345	—
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	30,634	21,590
貸倒引当金繰入額	1,200	—
特別損失合計	31,834	21,590
税引前四半期純損失(△)	△18,974	△93,982
法人税、住民税及び事業税	6,401	2,309
法人税等調整額	△8,388	△31,287
法人税等合計	△1,987	△28,978
四半期純損失(△)	△16,987	△65,004

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△18,974	△93,982
減価償却費	359,996	377,496
貸倒引当金の増減額(△は減少)	994	△227
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,519	△10,896
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,595	6,257
受取利息及び受取配当金	△1,651	△1,064
支払利息	169,507	165,422
固定資産除却損	30,634	21,590
受取補償金	△122,345	—
売上債権の増減額(△は増加)	10,965	144,965
たな卸資産の増減額(△は増加)	26,637	28,568
仕入債務の増減額(△は減少)	△77,688	△101,774
未払金の増減額(△は減少)	△52,892	△50,845
その他	100,082	△61,357
小計	417,150	424,154
利息及び配当金の受取額	1,651	1,064
利息の支払額	△171,542	△150,576
損害賠償金の受取額	122,345	—
法人税等の還付額	220,863	—
法人税等の支払額	△7,312	△2,343
営業活動によるキャッシュ・フロー	583,156	272,297
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△169,751	△498,055
無形固定資産の取得による支出	△1,157	△14,681
その他	△20	△500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△170,929	△513,237
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△1,567,000
長期借入れによる収入	200,000	2,200,000
長期借入金の返済による支出	△390,000	△413,500
リース債務の返済による支出	△29,284	△32,972
株式の発行による収入	—	19,941
自己株式の取得による支出	△99	△511
配当金の支払額	△30,694	△30,671
財務活動によるキャッシュ・フロー	△250,077	175,285
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	162,149	△65,654
現金及び現金同等物の期首残高	731,864	600,776
現金及び現金同等物の四半期末残高	894,013	535,122

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。